

No.738 May 2018

ASAHI MACHI

Public Relations

の 広報 あさひまち

地域で愛される
長寿の桜

2018

5

No.738



1. 2. 100万人目のお客さまである山尾さんには、達成証と記念品が贈られました
3. 4. 5. 当日はわたあめのプレゼントや炭焼き屋台の出店もありました

これからも多くの方に愛される道の駅を目指して

4月21日、道の駅あさひまち「りんごの森」の来場者が100万人を突破しました。

記念すべき100万人目のお客さまは、宮城県太白区からお越しの山尾柚子（やまおゆうこ）さんと、息子の麟太郎（りんたろう）くん。山尾さんには鈴木浩幸町長より来場100万人目を記念する達成証と、記念品として朝日町ワインやりんごジュースなどの町の特産品が贈られました。

この日が初来訪という山尾さん。100万人目の幸運に驚きながら「夫の両親がこちらのりんごジュースが大好きで、息子と初めて飲みに来ました。生搾りジュースは先日終了したとのことと残念でしたが、また必ず飲みに来ます」と

笑顔で喜びを語っていました。

道の駅あさひまちは、平成29年度売上2億1,950万円を記録。これは前年度比3.9%の伸びで、来場者数とともに順調に推移しています。

今年4月に就任した加藤拓生駅長はこの成果を受け、「これほどまでに早く来場100万人の大台を達成できたのは、高品質の商品を納品してくださる生産者の皆さん、そして協力してくださる町民の皆さんのおかげです」と感謝を述べるとともに、「今後もこれまで以上に地域に愛され、お客さまに喜ばれる道の駅を目指して、スタッフ一同真心こめて頑張ります」と意気込みを語っていました。

▶問合せ先 総合産業課 商工振興係 ☎67-2113 / 道の駅あさひまち りんごの森 ☎85-0623

道の駅あさひまち
「りんごの森」

来場者100万人突破！

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
道の駅あさひまち 来場者 100万人突破！
- P4 特集
第6次朝日町総合発展計画
- P14 町政スポット
 - ・町区長会長に堀幸雄氏が就任
 - ・町消防団春季消防演習
 - ・志藤六郎村おこし基金補助事業募集
- P16 平成30年 朝日町成人式
- P18 まちレポ
 - ・「雪りんご」掘り出し作業
 - ・高山山ブナの森探索会
 - ・日本カヌーフリースタイル選手権大会
 - ・大谷小新1年生にエコバッグのプレゼント
- P20 ほか
健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策、それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P22 町税等がコンビニでも納付可能になりました！
- P23 戸籍のまど、となりのりんごさん、地域に華を…「花咲か爺さん」
- P24 豊龍まつり

表紙の写真



4月18日午後7時過ぎ、「伊豆権現神社の種まき桜」（栄町）を撮影しました。樹齢は700年以上にもなるというこのエドヒガン桜は町の「ふるさと文化財」第1号。栄町区民の手によって大切に守られ、開花の時期にはこのように美しくライトアップされています。当日も何人もの見物客がお花見を楽しんでいました。

町長歳時記 (141)

今を生きる！ 全力で生きる！

～ 真正面から向き合う人生を～

今私たちにとってあるべき生き方とは、どんなことが考えられるでしょう。仕事にしても勉強にしても、また、趣味や娯楽、スポーツやボランティア…それらがどんなことであったとしても、とにかく今この瞬間、精一杯全力を尽くす。そんな生き方の積み重ねが、充実した人生、悔いのない人生に繋がってくると思います。

やるべきことがはっきりしている人、自分の人生目標がはっきりしている人は、それに邁進していくことで、充実した人生を送ることができるでしょう。

しかし、今、自分のやるべきこと、人生の目標が定まっていなくても、あわてることはありません。とにかく、今自分の置かれた場所で、仕事や勉強など、目の前のことに正面から取り組み、全力を尽くすこと。これが自分の道を切り拓く最善の方法であると思います。必ずや自分の進むべき方向性が現れてきます。

また、私は物事に対する姿勢というものも、大変重要なことだと思っています。剣道や柔道、野球やバスケットボール、または茶道や華道などスポーツや伝統文化などいずれの場合にも、基本の構え、基本の姿勢というものがありません。それらをよく見てみると、共通することがあります。それは対象となる相手（人や物）に対し、きちんと正面から向き合うということです。

人生についても同じことが言えると思います。斜に構えれば斜に構えた人生が、そっぽを向けばそっぽを向いた人生が、知らず知らずのうちに、自分を包んでしまいます。自分の人生にきちんと正面から向き合い、今この瞬間、誠実に、精一杯全力を尽くす。このことが、きっと充実した人生をもたらしてくれると確信しています。

朝日町長 鈴木浩幸

「チャレンジ・つながり・希望」 ～第6次朝日町総合発展計画～

「これは従来のような、町民が行政に要望を出し、行政がそれを聞く場ではありません。また、行政が作った計画に対し、町民の皆さんから意見をもつ場でもありません」

「町民も町職員も一緒になって、これからも朝日町で幸せな生活を送っていくために、私たちがすべきことをともに考え、ともに実現していく場です」

当計画策定にあたり、町職員と町民が約40人ずつ参加し、昨年3月から8月にかけて計6回にわたり実施された「6総策定町民ワークショップ」。紹介した冒頭の言葉は、その趣旨説明の内容ですが、まさに当計画の実現においても、最も重要といえるキーワードが込められています。

町民も町職員も一緒になって、これからも朝日町で幸せな生活を送っていくために、私たちがすべきことをともに考え、ともに実現していく場です」

当計画策定にあたり、町職員と町民が約40人ずつ参加し、昨年3月から8月にかけて計6回にわたり実施された「6総策定町民ワークショップ」。紹介した冒頭の言葉は、その趣旨説明の内容ですが、まさに当計画の実現においても、最も重要といえるキーワードが込められています。

町の課題に私たちがみんなで立ち向かう

日本全体が「少子高齢化」「人口減少」という喫緊の課題に直面し、大きな転換期を迎えている現代。もちろん町も例外ではなく、2015年に策定した「朝日町人口ビジョン」では、2040年までに町の総人口が4000人台まで減少すると予想。さらに今年3月末に発表された「日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所調べ）」では、2045年までに人口3500人を切り、高齢化率も県内最高の57・5%に達するという衝撃的な推計が出ています。

これらの人口構造、社会情勢の変化に立ち向かっていくためには、これまで以上に柔軟な「民官協働のまちづくり体制」を築いていかなければなりません。

これからの朝日町が目指す姿

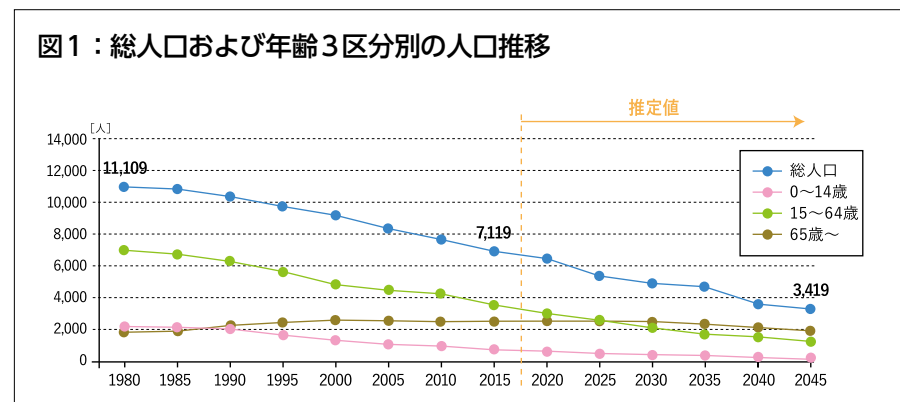
そこでこの度、多くの町民の皆さんとともに「それぞれの役割」について確認し、意見を出し合ってまとめられたのが「第6次朝日町総合発展計画」です。

課題の根本的解決は難しいかもしれませんが、しかし、みんなで将来の朝日町について考え、助け合うことはできるはずです。当計画では、全町民がまちづくりを「自分ごと」として参加する意識を持ち、新たな「チャレンジ」を応援する。そして町民同士や町内外の人々が「つながり」、誰もが「希望」を抱いて活躍できる町を目指します。

町の「悩み」「課題」とは？

【計画書対応】

○朝日町の対応すべき課題（P11～14）



◆左のグラフは2015年策定の「朝日町人口ビジョン」に、最新の「日本の地域別将来推計人口」の推定値を足したもの。

◆1980年に11,109人だった町の総人口が、2015年には7,119人に減少しています。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、朝日町の2045年の総人口は3,419人と推計されており、2015年時点の人口の半分を切ると予想されています。

◆また、人口減少に加え、2015年に39%を占めていた老年人口割合（65歳以上）も年々増加。2025年には生産年齢人口（15～64歳）を越え、2045年には高齢化率57・5%と県内最高値に達すると予想されています。

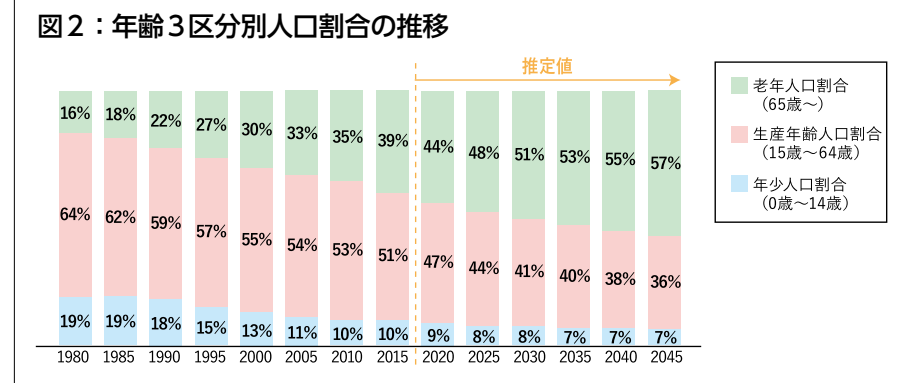


図1／図2：【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

町が目指す姿は？

【計画書対応】

○朝日町が目指す将来像（P9～10）

これらの課題を受けて町が掲げた「基本構想」が…

チャレンジ・つながり・希望 ～町民が活躍し笑顔あふれるまち～

これから町は、人口減少などを背景に厳しい財政状況となることが予想されます。行政サービスの維持が次第に困難になる中で、多様化・複雑化する様々な課題に対応するためには、町民の皆さんとともに「協働」してまちを運営していかなければなりません。

朝日町は「人と人とのつながり」と「交流」を理念として、魅力あるまちづくりにチャレンジしてきました。これからも、すべての町民が主役となってまちづくりに参加し、町民同士から町内外まで様々につながり合います。そして、行政が様々な面から応援してチャレンジの輪を広げ、誰もが将来への希望を抱いて活躍できるまちを目指します。

今年度より、「第6次朝日町総合発展計画」実現に向けたまちづくりがスタートしました。「総合発展計画」とは、私たちの住む朝日町が、10年後も、その先の未来もずっと住み続けたい愛すべきまちであるために、「私たちみんなで取り組んでいくべき」大切な計画です。

今号では、当計画の内容をなぞりながら、行政の役割、そして町民の皆さんの役割を確認し、ともに目指していく「朝日町の将来像」について考えます。

▶ぜひ、4月中旬に全戸配布された当計画書（右）と一緒にご覧ください



1 技・モノ・心が引き継がれ、 人が集まるまち（産業経済）

【計画書対応】 ○農業（P22～27） ○しごとの確保／商工業（P28～32） ○交流・観光（P34～39）

みんなでこれからがんばること（テーマ別）

■農 業

- ①りんごを核とした高品質なフルーツ産業により、朝日町ブランドの更なる向上を図る
- ②米、施設園芸等を組み合わせた農業の多角化を図り、所得の向上を目指す
- ③農業の法人化を図り、多様な担い手を育成するなど、持続的な農業経営に向けた取り組みを進める

■しごとの確保（商工業）

- ①今あるしごとの技術や町内で働く魅力を広く発信し、企業の活力を高める
- ②意欲ある人材を支える環境を整え、新たなしごとを作る
- ③女性が活躍できる環境を作る
- ④障がい者の就労の場を確保する

■交流・観光

- ①今ある資源を工夫しながら活用して交流の輪を広げる
- ②朝日町の魅力を町民自身が知り、おもてなしを通して町外にも伝え、未来に向けて守る
- ③行政と町民が協力して、まち全体の活性化をもたらす

町民ワークショップ参加委員の声 【私がこれから実践したいこと】

ワークショップのお誘いを受けたとき、正直「策定の段階からこんなにも多くの町民を巻き込むなんて、思い切ったことをするな」と思いました。

おかげですばらしい計画ができましたが、計画はこれからの実践こそが本番。相当の努力が必要で、私たち町民の役割もかなり大きなものです。

自分としては、今後も1人の経営者として「人材育成」に力を注いでいきたいですね。特に子どもたちへの職業教育として、仕事や社会についてたくさん話しをしたい。私たち大人が若者と良い関係を築くことで、きっと将来も町のことを想い、関わり続けてくれる人材が育つものと思います。

この6総が実現できれば、朝日町は本当にすばらしい町になりますよ



産業経済部会 代表 阿部 佳孝さん（新宿）

協力者 募集中

町民団体の活動を紹介 ～あなたも参加してみませんか～



町の名所を案内するガイドの会です。観光や視察に訪れるお客さまはもちろん、地域や学校、個人でも利用できます。同会主催の「ふるさとミニ紀行」は、町民にこそオススメ。町の新たな魅力を知るきっかけになること間違いなしです。「案内人」になりたい方も、ガイドを依頼したい方も、まずはお気軽に下記までお問い合わせください。

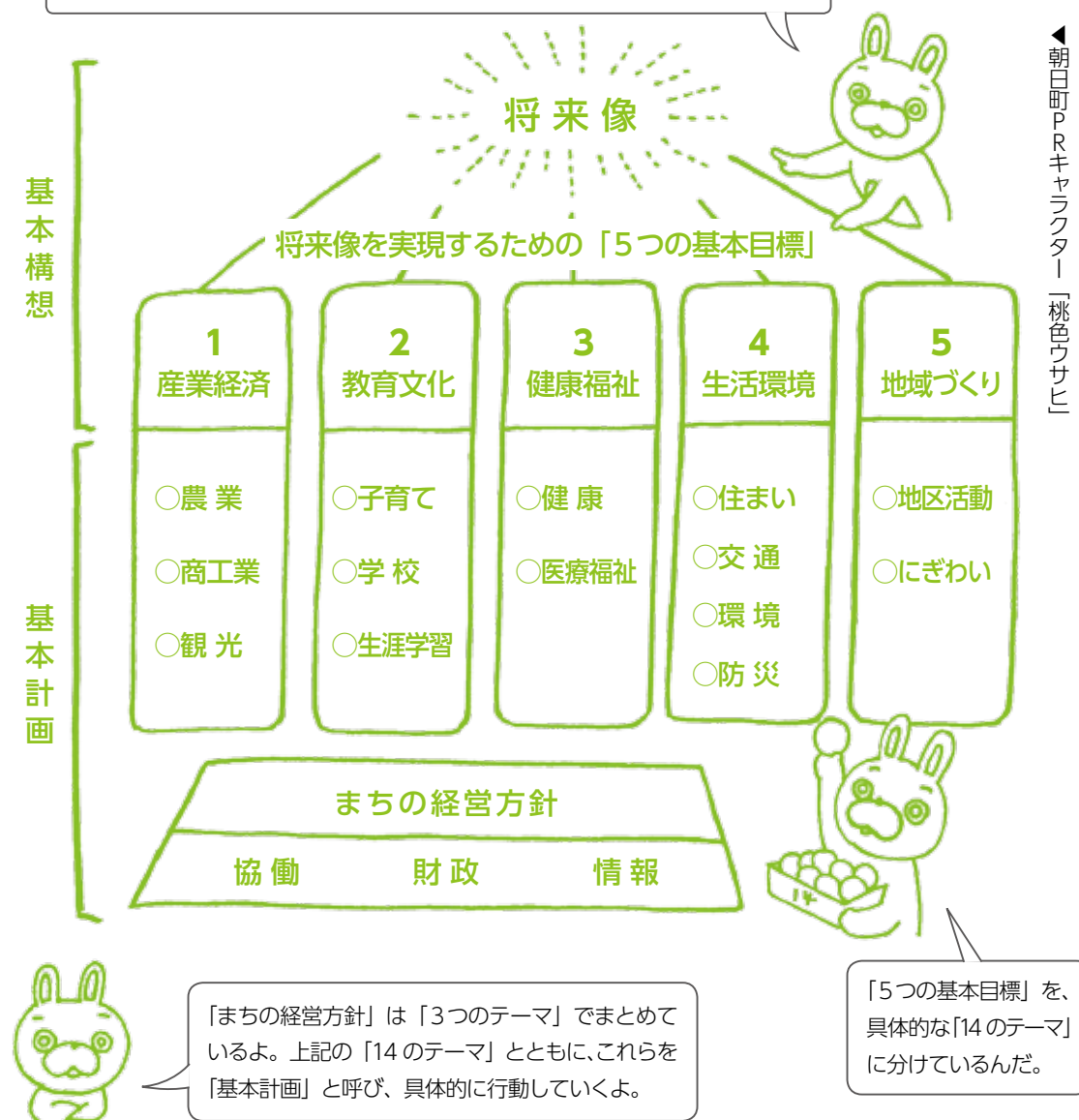
▶朝日町エコミュージアム案内人の会
（事務局：創遊館エコミュージアムルーム内）
☎0237-67-2128
※9:00-17:00／月・木定休
URL：http://asahi-ecom.jp/

計画書の構成

【計画書対応】

- ちよこつと解説 この計画書の全体図（P7）
- 5つの基本目標とまちの経営方針（P15～16）

計画のトップを目指す「将来像」、次に実現のための「5つの基本目標」で構成されるよ。



▲朝日町PRキャラクター「桃色ウサビ」

◆計画書の構成
一番上に、町が目指す「将来像」があり、次にそれを実現するための「5つの基本目標」があります。これらをまとめて「基本構想」と呼び、私たちが「理想とする町のイメージ」を共通認識として示しています。

次に「5つの基本目標」を、より生活に基づいた「14のテーマ」に分けています。また、まちの経営方針を「3つのテーマ」にまとめ、これらを「基本計画」として具体的な行動や施策に移していきます。

◆計画書の読み方
当計画は、「行政と町民の皆さんとがそれぞれの役割を持ってともに考え、ともに行動しなければ実現できない」大切な計画です。

この計画書の中で、何か一つで構いません。興味のあるものや、身近だと思うテーマについて、ご覧ください。

まずは10年後、自分や町がどうなっているか、想像することから始めてみましょう。

5つの基本目標で「あなたが興味のある・身近に感じる」テーマをチェック！

まずは確認、
できれば行動！

「計画書」を讀んでみよう



3 いつまでも健康に暮らせる、 思いやりあふれるまち（健康福祉）

【計画書対応】 ○健康増進（P56～60） ○医療・福祉（P62～66）

👉 みんなでこれからがんばること（テーマ別）

■健康増進

○町民一人ひとりが、健康の意識を高く持ち、いきいきと暮らす

具体的には…

- ・健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ
- ・健康づくりを支える居場所づくりを進める

■医療・福祉

○高齢者や障がい者等、支援が必要な人と町民が助け合い、住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしく暮らす

具体的には…

- ・充実した医療サービスが受けられる環境を整える
- ・高齢者、障がい者等が居場所づくりや相談体制を通してお互いに支え合う。生きがいを持って暮らす
- ・高齢者が安心して暮らせる町民ニーズに沿った介護環境を整える

町民ワークショップ参加委員の声 【私がこれから実践したいこと】

老若男女、幅広いメンバーが集まったワークショップ。自分は一番先輩の年代になりますが、若い方の発想に驚いたり感心したり、また、町職員の皆さんの仕事ぶりも見られて、大変良い刺激をいただきました。そして、この熱気を少しでも周りの人たちに伝えていきたいと感じました。

健康福祉部会に参加した身としては、まず自分の健康は自分で守ること。そして、生涯現役を目指して色々な人と関わり、新たに挑戦する人を応援していきたいと思います。

こうした意識を、町民の一人ひとりが持つことができれば、目指す将来像にきっと近づくことができるはずです。

生涯現役を目指して、
自分の健康は自分で
守っていきます。



健康福祉部会 代表 安藤 貴さん（元町）

協力者
募集中

町民団体の活動を紹介

～あなたも参加してみませんか～



ぽかぽかサロン

特にご高齢の皆さんが気軽に集える場として開設された「ぽかぽかサロン」は、ボランティアサークル「ぽかぽかの会」が運営するお茶飲みサロンです。

歌ったり踊ったり、作品を作ったり…みんなで楽しい時間を過ごせる憩いのサロンにぜひご参加ください。また、「ぽかぽかの会」にご協力いただける方も随時募集中です。

▶ボランティアサークル「ぽかぽかの会」

（事務局：健康福祉課 地域包括支援センター係）

☎0237-67-2156

サロンは毎週火曜日、午前10時～正午に開設。

会場は開発センター1階和室で、参加費300円（1回）。

2 ふるさとを愛し、みんなが学び合い、 育て合うまち（教育文化）

【計画書対応】 ○子育て（P40～44） ○学校教育（P46～51） ○生涯学習／スポーツ・文化（P52～55）

👉 みんなでこれからがんばること（テーマ別）

■子育て

- ①地域全体で子育てを支える共育（ともいく）により、笑顔があふれる子どもを育てる
- ②まちの強みである自然の中での子育てがしやすい環境を作る
- ③次の親となる世代が結婚・出産・子育てについて理解し、取り組めるよう後押しする

■学校教育

- ①幼児期から、一貫した方針のもと、自然環境・地域を活かした学びに取り組む
- ②地域との関わりの中で自主性を育む
- ③チャレンジし続けるたくましい子どもを育てる

■生涯学習

- ①地域との関わりの中で自主性・協調性を持つ
- ②子どもからお年寄りまで、自然環境を活かした活動に取り組む
- ③チャレンジし続けるたくましい人として暮らす

協力者
募集中

町民団体の活動を紹介

～あなたも参加してみませんか～



放課後子ども教室

子どもたちの放課後（自由遊び）をやさしく見守る「放課後子ども教室」。町では全3小学校で導入されており、地域の方々がボランティアで活動しています。

放課後子ども教室では、見守り員（教育活動サポーター）を随時募集しています。地域の学校で平日の夕方、活動できる範囲でかまいません。ぜひご協力ください。

▶朝日町放課後子ども教室

放課後子ども教室（西五百川小）、風っ子ルーム（大谷小）、きらきらスクール（宮宿小）

（事務局：教育文化課 生涯学習係）

☎0237-67-2118

町民ワークショップ参加委員の声 【私がこれから実践したいこと】

このワークショップは「町のことを思い、良くしたい」という皆さんの集まりで、最後まで意識の統一感があり、気持ちの良い場所でした。

私には小学生になる子どもがいるので、やはり子育てや教育に関する話題が気になります。これからも学校や地域の行事に積極的に協力していきたいし、町の良い所を子どもに教えられるように勉強していきたいと思います。

文化財めぐりや名所めぐりも、子どもと一緒に回れたら楽しいですね。また、そうして町を歩いたときに、施設や道の破損など、気付いた点を行政に伝え、町の環境整備にも努めたいと思います。



子どもと一緒に町を歩いて、朝日町の良さを伝えられる親でありたいです。

教育文化部会 代表 海野 真子さん（能中）

5 地域を思う一人ひとりがつながり、 みんなで支え合うまち（地域づくり）

【計画書対応】 ○地区づくり活動（P88～92） ○まちのにぎわい・元気づくり（P94～99）

👉 みんなでこれからがんばること（テーマ別）

■地区づくり活動

○町民が主役となって自治活動を考え、実行し、行政は地区の活動に対して積極的支援を行う

具体的には…

- ・地区の強みと弱みを分析し、役割を明確にする
- ・地域を支援する人材を配置する
- ・地区の意欲を後押しする財政支援を行う
- ・地区同士の連携を推進する

■まちのにぎわい・元気づくり

- ①町民の世代間交流や町外の定住・交流・関係人口（※）を増やすための拠点を作り、まちづくりの活力を生み出す
- ②地域での活動に参加する仕組みを作り、まちが元気になる活動に取り組む

（※）地域出身者や、勤務・学業による居住経験がある人など、現在その地域に住んでいないが継続的な関わりを持つ人

町民ワークショップ参加委員の声 【私がこれから実践したいこと】

これほどまで多くの町民が参加しての計画づくりは、今までにないはず。都市部では真似できない、朝日町ならではのやり方だと思います。

実際に6総策定に携わって、この町を思う人の多さやその熱さに胸を打たれました。そしてこの熱を、この場だけのものにしたいと強く感じました。

これからのまちづくりのカギを握るのは若い世代。そして、表に出していなくても、若者だって絶対に「朝日町が好き」だと思います。

自分はそんな子どもたちと地域を結ぶ架け橋のような人になりたいし、そういう場や機会を与えてもらえたら、喜んで協力していきます。



若者が地域づくりに参加するキッカケや、その架け橋になる人を目指します。

地域づくり部会 代表 遠藤 大輔さん（真中）

協力者
募集中

町民団体の活動を紹介 ～あなたも参加してみませんか～

民話でまちおこし「星の会」



民話や昔の暮らしを通して町の魅力を発信する「星の会」では、明治時代の古民家「宿（しゅく）のやかた」（前田沢）を活動拠点として、月1～2回程度、様々なイベントや民話劇、昔話語りを行っています。

イベント予定は「お知らせ板」等で広報しているのでぜひご参加ください。また、自分もメンバーとして参加したいという方も大歓迎です。下記までお問合せください。

▶民話でまちおこし「星の会」

代 表：成原千枝氏 ☎0237-67-2636

事務局：西澤敬子氏 ☎0237-67-3589

※昔話のご依頼は5名以上でご予約（1週間前まで）ください。

4 豊かな自然を守り、安全で快適な 住みよいまち（生活環境）

【計画書対応】 ○住まい（P68～72） ○交通（P74～78） ○環境（P80～83） ○防災（P84～87）

👉 みんなでこれからがんばること（テーマ別）

■住まい

- ①町民ニーズに対応する住環境を整備する
- ②空き家等を適正に管理し、管理不全な状態になることを未然に防ぐ

■交 通

○町民の移動に便利な交通網を整備し、安全安心な交通環境を作る

■環 境

- ①人と豊かな自然が共生する暮らしを続けていく
- ②地球に優しい循環型社会を構築する

■防 災

○防災について学び、災害時に適切な行動を取れる暮らしを推進する

協力者
募集中

町民団体の活動を紹介 ～あなたも参加してみませんか～



朝日町消防団

地域の消防力・防災力の維持に大きく貢献し、町の安心と安全を守る町消防団。近年は人口減少や勤務形態の多様化などから団員の確保が大きな課題となっています。

有事にはみんなで助け合う「公助」「共助」の精神のもと、地域や仲間、家族のために、できる範囲でご協力ください。町消防団はあなたの力を必要としています。

▶朝日町消防団

（事務局：総務課 防災係）

☎0237-67-2111

※入団ご希望の方は上記にご連絡いただければ居住区の担当分団をご紹介します。女性消防団員も募集中です。

町民ワークショップ参加委員の声 【私がこれから実践したいこと】

ワークショップで自分は「交通」グループに参加しましたが、たとえば町のデマンドタクシーの運行時間や本数などについて、民営機関との細かい調整が必要とは全く知りませんでした。長くこの町に住んでいても知らないことがたくさんあるのだと気づき、町の若手職員の皆さんと同じ問題について考える中で「信頼感」が生まれたと感じます。

町民の足の維持と確保は、今後も町の大きな課題です。自分にできることは少なくとも、子どもたちや高齢の皆さんにとって、将来の朝日町がより住みよい町になるよう、真剣に考えていかなければと思いました。

私たちみんながずっと住みよい朝日町について、真面目に考えていきます。



生活環境部会 代表 柴田 栄三郎さん（元町）

町民の安心安全を守る日頃の訓練成果を披露 町消防団春季消防演習

■総務課 防災係 ☎67-2111



4月22日、町消防団による大規模訓練「春季消防演習」が創遊館駐車場および宮宿商店街を会場に開催されました。

町民の安心と安全を守る町消防団。その日頃の訓練成果を披露するとともに、広く町民へ防火・防災を呼びかけました。

演習には総勢約250人の団員が集結。当日は25度を超える真夏日の中、小隊訓練や小型・自動車ポンプによる模範操法、火災防ぎ訓練と分

列行進が行われました。

宮宿商店街で行われた放水訓練では、可愛らしい法被姿の幼年消防クラブ（あさひ保育園年長組の皆さん）が訓練用の消防ホースで放水作業を実践。最後に元気な声で「火の用心」を呼びかけました。

続く火災防ぎ訓練では、火災を告げるサイレンとともに全車両隊が出動。迫力の二斉放水が始まると、沿道に集まった町民からは大きな声援が送られていました。

伝統文化（まつり）の継承、地域イベント…身近な町づくり活動を応援 「志藤六郎村おこし基金」 補助事業募集

募集期間
6月15日まで

左記の個人や団体の活動に対し、「まちづくり」の視点で応援します。より良い企画や活動になるよう、まずは気軽にご相談ください。

○補助の対象

- ・町に住居登録している一般社会人の方
- ・町民で組織する団体等
- ・町に住居を有する企業等

※ただし、区長が代表を務める自治組織および実行委員会等の団体を除く。

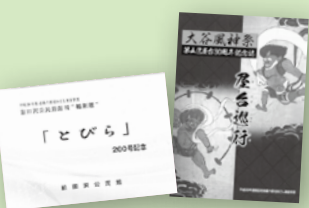
○補助内容

①人と人とのつながりによる地域力の向上活動。事業費の80%以内（80万円を限度）

例：太鼓購入や子ども神輿の法被購入など

②新たな価値や賑わいを生み出す産業力の向上活動。事業費の80%以内（80万円を限度）

例：地元食材を活用した



▲当事業①に該当し、補助を活用して制作された2冊子

▼申込み・問合せ先
政策推進課 地域振興係
☎67-2112

○補助事業の実例紹介

- ・前田沢区公民館報「とびら」200号発行を記念し、縮刷版を制作。
- ・大谷風神祭第五区屋台30周年の節目に、記念誌を発行。

商品開発、物産イベントへの出展など

③やる気とチャレンジで町の活性化をめざす活動。事業費の90%以内（40万円を限度）

例：川下りや木登りなど活気あふれるイベントの開催など

町区長会長に 堀 幸雄氏（大暮山）が就任

■政策推進課 地域振興係 ☎67-2112



堀幸雄町区長会長
（大暮山区長）

4月26日、町内全55集落の区長が一堂に会する町区長会春季定例会が開発センターで開催されました。

会議ではまず、事前に開催された評議員会（構成員…中・西・北各区町会の代表者合計14人）での協議内容と決定事項について報告。堀幸雄氏（北部地区区長会長／大暮山）を会長に、宮本建一氏（西部地区区長会長／西船渡）と多田秀人氏（中部地

区区長会長／大町）の両名を副会長に選任したことが全区長に伝えられ、その後拍手をもって承認されました。

また、監事に菅井均氏（沼向区長）と熊谷純雄氏（石須部区長）の両名を選出。新たな役員体制を確認しました。

同区長会役員の任期は、2年間（平成30年4月1日～平成32年3月31日まで）となります。

今年度の 区長さん

※緑文字は新任区長、数字は世帯数

■中部地区【25区】

本町	清野 正幸	90
西町	村山 澄男	110
栄町	佐藤 源六	56
助ノ巻	布施 久志	52
大町	多田 秀人	169
元町	富樫 清志	58
西原	西澤 信雄	16
前田沢	柴田 勇	64
新宿	清野 信廣	62
四ノ沢	柴田美喜雄	56
小原	菅井 薫	39
宿	鈴木 利光	32
沼向	菅井 均	51
平	清野 庄治	15
大隅	鈴木 芳男	30
古楨	渡辺 薫	25
送橋	清野 雅英	32
下芦沢	岡崎 兼一	21
水本	高橋 勇	23

杉山	花山 芳文	22
松原	安藤 茂雄	26
宇津野	阿部 登	41
大滝	柴田 茂夫	21
雪谷	鈴木 進	12
緑町	森本 豊美	53

■西部地区【16区】

常盤	長岡 憲夫	91
夏草	井澤 壽一	48
長沼	長岡 謙一	15
西船渡	宮本 建一	40
八ツ沼	鈴木 好一	42
能中	志藤 寛一	38
高田	高山 文男	15
太郎一	長岡 茂	44
太郎二	長岡 信之	32
太郎三	長岡 典巳	20
石須部	熊谷 純雄	10
立木	児玉 孝童	28

白倉	阿部 馨	8
松程	阿部 政直	90
大船木	石黒 祐次	17
今平	阿部 正好	10

■北部地区【14区】

大谷一	白田 和好	29
大谷二	佐々木辰一	35
大谷三	白田 富彦	36
大谷四	長岡 定	25
大谷五	池田 伸一	71
大谷六	白田 嗣寛	42
大谷七	村山 順一	12
中沢	五十嵐藤司	33
真中	武田 賢一	33
舟渡	堀 茂昭	26
栗木沢	遠藤 清志	81
川通	志藤 一夫	13
大暮山	堀 幸雄	29
大沼	東海林新一	27



自治功労表彰を受ける海野和義氏（長沼）

この3月末をもって区長の職を退任された25人には、自治功労賞（在職6年以上／5名）および感謝状（在職6年未満／20名）が贈呈されています。

また、自治功労賞受賞者のご家族には、内助の功労賞が贈られました。

自治功労賞受賞者は次の方々です。（敬称略）

海野 和義（長沼／8年）
渡邊 勇一（西原／6年）
佐竹 敏幸（太郎一／6年）
阿部 敏昭（松程／6年）
鈴木 利和（大船木／6年）

区長会春季定例会 自治功労賞受賞者

▶成人式に出席した 45 人です



成人式

平成30年
朝日町



両親にとっても記念の1枚



「全員写って〜」ハイチーズ！



恩師の先生と...



思い出が詰まったワイン



お祝いの鏡割り



再会を祝して乾杯！



▲中学3年生時の親子行事で収穫したブドウから作られた記念ワインを手に笑顔の新成人の皆さん。ラベルは当時1人ひとりが手書きで作ったオリジナル



4月29日、平成30年朝日町成人式が創遊館で行われました。今年の対象者は、平成9年4月2日から10年4月1日生まれの男性35人、女性23人の合計58人（21年4月1日以前の転出者を除く）。当日は全体の約8割にあたる45人が出席しました。

式典では新成人を代表し、成人式実行委員長の佐竹智康さん（能中）があいさつ。「それぞれの夢に向かい、第一歩を踏み出した私たち。ここに集い、様々な挑戦や楽しい学校生活をともに過ごした仲間たちは、一生ものかけがえのない存在です。これまで出会い、支えてくださった全ての方々に感謝申し上げ、今後の長い人生を力強く歩んでいきます」と、誓いの言葉を述べました。

式には中学時代の担任の先生も駆けつけ、新成人を激励。懐かしさと感謝の気持ちで、顔がほころぶ新成人の皆さん。式典後には祝賀会が開催され、恩師の方々や仲間との再会を喜び合い、思い出話が尽きない様子でした。



「誓いの言葉」を述べる成人式実行委員長の佐竹智康さん（能中）



ホームページに写真



◀▲最上川の激流を乗り越え、ターンや宙返りなどのハイレベルな技を繰り出す選手たち

4/22 世界大会予選も兼ねたトップレベルの勝負 日本カヌーフリースタイル選手権大会

4月22日、玉ノ井地内にあるカヌーランド（通称「タンの瀬」）で日本カヌー連盟が主催する「日本カヌーフリースタイル選手権大会」が開催されました。同地での開催は今年で10回目。フリースタイルとは2m前後のカヤック（艇）を操り、制限時間内で繰り出した技の得点を競うもので、その激しさから「水中のロデオ」とも呼ばれます。世界大会の予選も兼ねた当大会には、全国各地からトップ選手が集結。カヌーファンやカメラマン等が多数応援に駆け付け、会場は拍手と歓声に包まれていました。

4/24 子どもたちの安全を願って今年で8年目 大谷小新1年生にエコバッグのプレゼント

大谷地区のお茶のみサロン「ひまわりサロン」（渡邊恵美子代表／大谷五）の皆さんが4月24日、新聞紙で作った特製エコバッグを大谷小の新1年生5人にプレゼントしました。子どもたちの交通安全を願って実施し、今年で8年目。手づくりのバッグには、こちらも皆さんお手製の折り紙のおもちゃがたっぷり。1年生たちはサロンの皆さんと校歌を合唱し、プレゼントを受け取ると「ありがとう」と笑顔で応えていました。



◀サロンの皆さんお手製の折り紙のサイコロやお花がたっぷり詰まった新聞紙のエコバッグ



4/26 総合的なまちづくり事業で提携するミズノ㈱と共同開催 陸上（走り方）教室を実施

4月26日、ミズノ㈱との共同により、町内3小学校の5・6年生を対象とした陸上教室が行われました。同教室は、5月15日に行われる町小学校陸上記録会に向けた練習会として開催。ミズノスポーツサービス㈱から講師を招き、100m走とハードル走を中心に、走る際に意識すべきポイントに絞った指導が行われました。

参加した児童らは、「今日教わったことを練習に活かし、大会本番では自己ベストを出したい」と力強く話していました。

5/5 今年1年の無病息災、五穀豊穡を祈願 大沼浮嶋稲荷神社例大祭

大沼浮嶋稲荷神社の例大祭が、5月5日、大沼地内で行われました。午前10時、降り続く雨が一時止み、ホラ貝の音を合図にして神社の社務所から行列が出発。雅楽隊の演奏に先導され、神社宮司や白装束の氏子たち、地区住民も加わった行列が神社まで約1キロの道のりを練り歩きました。拝殿および本殿で行われた神事では、今年1年の無病息災、五穀豊穡を祈願。子ども神輿も地区内を巡り、大いににぎわいました。



ホームページに写真



▲掘り出された雪りんご。辺りには甘酸っぱい良い匂いが漂う
◀今年も大満足の出来栄
▼割ればさらにみずみずしい



ホームページに写真



▲カタクリの花がちょうど見頃でした
◀ブナの緑と森の空気が清々しい！

4/30 春もパリのりんごのいいりんごを提供 「雪りんご」掘り出し作業

4月30日、今年度の「雪りんご」掘り出し作業がAsahi自然観駐車場で行われ、「雪りんご研究会」（志藤修治会長／栗木沢）のメンバー等約20人が参加しました。

町内産りんごを旬の間に雪中保存し、春先までおいしいりんごを提供しようと町生産者有志で始めた試み。9年目となる今年は16人が同研究会に参加し、12月22日にコンテナで約500箱を貯蔵しました。

当日はパワーショベルで固い雪を崩し、そこから手作業で排雪作業を実施。甘い香りとともに顔をのぞかせたりんごはみずみずしく、硬さも甘味も十分で、メンバー全員納得の出来栄でした。

「雪解けが早く調整に苦労しましたが、今年も良い雪りんごができました。多くの方に町のおいしいりんごを味わっていただきたい」と語る副会長の井澤壽一さん（夏草）。「雪りんご」は5月3日より道の駅あさひまち等で販売を開始。用意した1キロ詰め約6000袋が即日完売となる人気でした。

5/6 高田区の地域行事として毎年開催 高田山ブナの森探索会

町で最も身近なブナ林と里山の魅力を感じてもらおうと、高田区の皆さんが地区行事として実施している「高田山ブナの森探索会」。その11回目が5月6日に開催され、町内外から約80人が参加しました。

参加者の約半数はリピーターという人気イベント。当日は青空に恵まれ、絶好の行楽日和となりました。地元高田区から4人の案内人が引率し、大人から子どもまで自分のペースで山道を探索します。道中にはヤマナシの大木や炭焼き跡、カタクリの群生地など見所満載。参加者は時折立ち止まりながら、緑に輝くブナ林の景色と、澄んだ空気を楽しんでいました。

町内から初めて参加したという女性は「約2時間ほどで登山できて、体力に自信がなくても最後まで気持ちよく参加できた。ブナの緑や山頂からの景色がとてもきれいで楽しかった」と笑顔で話していました。



朝日町の皆さんはじめまして、村山夏渚（なな）と申します。4月より移住・交流推進員として、常盤地区のゲストハウス「松本亭 農舎」に管理人として着任しました。この場をお借りして自己紹介できること、大変うれしく思います。

私の出身は中山町で、山形市の高校を卒業後、東北芸術工科大学に進学しました。大学では「コミュニティデザイン」を専攻。「コミュニティデザイン」とは、地域の課題を地域の人たちが解決できるように、デザインの手法を使ってお手伝いすることです。大学の授業は実践的な活動がメインとなり、学生が県内の地域に分かれて活動しました。私



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「はじめまして!よろしくお願いします」

移住・交流推進員（地域おこし協力隊） **村山夏渚**（中山町出身）



経験を活かして町に貢献していきたいと語る村山隊員

は大江町の商店街にある銀行の利活用について、チームで話し合いの場を企画・開催。また、町で買い取った空き家を活動拠点とし、壁二面を白く塗ったり、基礎から床板を貼るなど本格的なDIY（日曜大工）も行いました。卒業研究では、実際に大江町に住みながら、移住者がどうすれば地域になじめるかをテーマに活動しました。そして今年の3月、卒業したばかりです。

大学在学中、人とのつながりや縁というものをたくさん感じてきました。こちらにお世話になることが決まったのも一つのご縁だと思います。ゲストハウスの業務が中心になりますが、町を移住・交流という面からサポートしていきたいです。また、松本亭のホームページでブログも担当しているのので、ぜひ覗いてみてください。これからよろしくお願いします！



「健康診断」は健康への第一歩 20歳になったら健診を！

【平成30年度第2回】
今月の担当 … 宇佐美 晴枝 保健師



暖かくなり、散歩や運動に丁度いい季節になりました。新年度になって1カ月あまりが経ち、新しい環境にも慣れてきたころでしょうか。

今回は「健康診断」のお話です。皆さんは、今年度のお申込みは済み了吗？

健康診断の日程については、4月に全戸配布された「各種保健事業の日程」をご確認ください。また、今年度から健診を受けられる年齢の範囲が広がりました。その他、受診費用に対する助成事業等についてご紹介します。

① 20歳から健診が受けられます
受診できる年齢範囲が拡大。20～34歳の方も健康診断が受けられます。

② 特定健診も無料で受診
「朝日町国民健康保険」にご加入の方は、「特定健診 ※メタボ（内臓脂肪症候群）等、生活習慣病リスクに着目した検査や指導を行う健診」を自己負担なしで受けられます。

③ がん検診がお得な費用で！
町のがん検診には費用助成があります。「朝日町国民健康保険」にご加入の方は、さらに国保の助成が追加され、お得に受診できます。

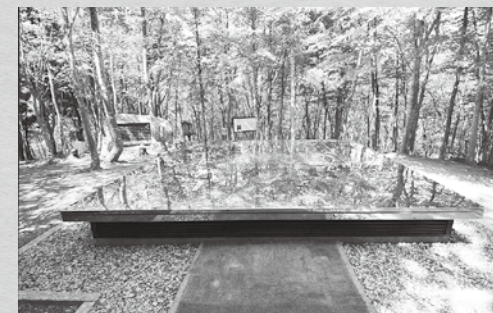
定期的に健康診断を受けることが健康への第一歩です。若いうちから健康診断を受診する習慣を身につけましょう。まだ申し込んでいないという方も、随時受付しておりますのでお問合せください。

また、せっかくの健康診断も「受けっぱなし」になっていませんか？ 結果が届いたらすぐに確認し、わからないことや心配なことがあれば、左記までいつでもご相談ください。

▼健康福祉課 健康推進係
☎ 67・2116



町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【おすすめの季節】 5～6月の新緑の季節のほか、10月下旬～11月初旬の紅葉の時期もブナ林が美しい

第11回 空気神社

【DATA】 宮宿から県道白滝・宮宿線に入り、白倉橋から町道白倉線を登ること約4km、Asahi 自然観の一角にある

Asahi 自然観が整備される際、新たな観光名物として、故・白川千代雄氏（松程）が提唱した「空気を祀る神社」を建立しようという動きが起きました。昭和63年に住民有志による「空気神社建立奉賛会」が設立。町内全戸に建造費の奉賛を募り、平成2年に世界初となる空気神社が完成しました。

目に見えない空気を音と光で感じることができるステンレス板の拝殿と、参道には、空気の5元素である木・火・土・金・水のモニュメントがあります。

町は空気神社の建立にあわせて、平成3年に世界環境デーの6月5日を「空気の日」に制定。翌年からその日を中心に「空気まつり」を行っているよ。まつりでは年に一度、神社の本殿が一般公開されるほか、大沼浮島雅楽隊の演奏に合わせて巫女の舞が披露されるんだ。自然や環境に関わるイベントもあり、多くの人でにぎわうんだ。今年の開催は、6月2・3・5の3日間の予定だよ。

案内人の
つぶやき



町立図書館新刊案内

「やまがた百名山」

山形県環境エネルギー部
みどり自然課 監修



山形県内の魅力的な山「やまがた百名山」全100座について、その山の概要、見どころを写真と解説文、簡易ルートマップで紹介。食事処や温泉、立ち寄りスポットも掲載する（データ：2018年2月現在）。

町出身絵本作家 最上平さん新刊2冊
「あしたもチャーシューメン」

最上平 作／青山友美 絵



「たぬきの花よめ道中」

最上平 作／町田尚子 絵



【その他の新刊】

▼折りのカルテ／知念実希人
凶犬の眼／柚月裕子 ▼ふたりみち／山本幸久 ▼震える教室／近藤史恵 ▼オリンピックへ行こう！／真保裕一 ▼ウィステリアと三人の女たち／川上未映子 ▼草薙の剣／橋本治 ▼庭／小山田浩子 ▼わたし、定時で帰ります。／朱野明子 ▼不倫のオーラ／林真理子 ▼激甚化する水害／気候変動による水害研究会 ▼辺境中国／ディビット・アイマー ▼災害ボランティア入門／山本克彦 ▼小萩のかんざし／北村薫 ▼10歳の習慣／高橋幸枝 ▼にらみ／長岡弘樹 ▼美しき小さな雑草の花図鑑／大作晃一 ▼泣きかたをわすれていた／菱合恵子 ▼素顔の西郷隆盛／磯田道史 ▼最後まであるがま行／日野原重明 ▼ペインレス 上・下／天童荒太 ▼三円の使いかた／原田ひ香



【ブックテーマコーナー】
国際アンデルセン賞 作家賞受賞
角野栄子さん（代表作：魔女の宅急便）特集

戸籍のまど

Asahi town

4月1日～4月30日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
杉 山	安 藤 風 斗	男	雄太・麻美
太郎一	伊 藤 颯	男	大樹・聡美

Marriages

おしあわせに

大 滝 喜 明
(能 中)



渡 辺 恵
(舟形町)

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
大 沼	最 上 澄 子	淳 雄
元 町	熊 坂 正 一	淑 子
四ノ沢	近 藤 春 雄	俊 幸
常 盤	伊 藤 栄三郎	本 人
太郎一	長 岡 まさ彖	茂
四ノ沢	清 野 義 一	本 人
元 町	富 樫 善 一	清 志
栗木沢	志 藤 三代子	正 雄
新 宿	今 井 とく子	正 仁
大 町	鈴 木 末 子	本 人

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●平成30年 4月30日 現在
※（ ）内は先月比

人 口 6,997 人 (－23)
男 3,460 人 (－8)
女 3,537 人 (－15)
世帯数 2,444 世帯 (－4)

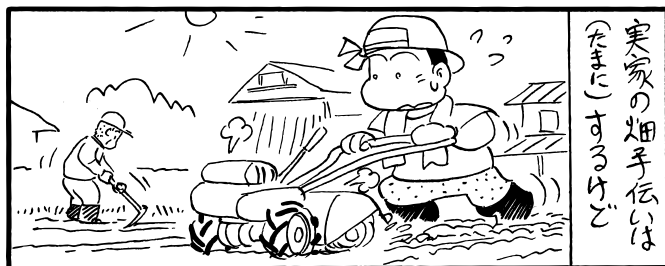
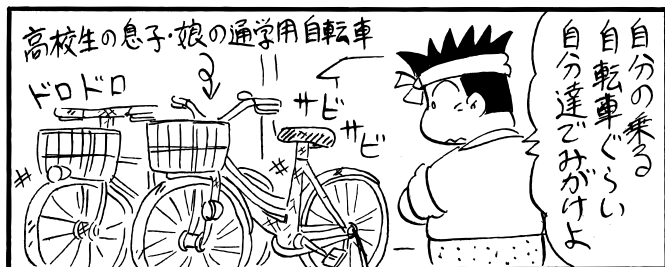
----- 4月中の異動 -----

出生 2人 転入 10人
死亡 12人 転出 23人
(※外国人を含む)

とないのリンゴさん

(301)

ホリイ



地域に華を...「花咲か爺さん」



前田沢公民館駐車場に立つ「夢桜」の根元に、今年も「花咲か爺さん」の力カシが登場しました。

前田沢いきいきクラブ(長岡一美代表)が制作。同クラブでは、夏の交通安全力カシ(国道287号沿いに設置)など、毎年恒例行事としてユニークな力カシを数多く制作し、道行く人の目を楽しませています。

早朝・深夜・休日も、お近くの店舗で納付OK

町税等がコンビニでも納付可能になりました！

▼【納付書様式の例】軽自動車税

通知書部分

※「領収書」は納税の証明になります。大切に保管してください。
※軽自動車税の場合は「納税証明書」も必ず受け取り、車検の際に使用してください。

切り取り線

納付期限

バーコード

領収証書

納税証明書

※納付時、切り取り線以下の3枚(軽自動車税は4枚)は切り離さないでお出しく下さい。

※従来どおり、「町内金融機関」や「郵便局」での納付も可能です。

平成30年5月より、町税等が全国のコンビニエンスストア等で納付できるようになりました。
早朝・深夜、休日も、お近くの店舗で納付でき、手数料負担もありません。ぜひご利用ください。詳細は下記のとおりです。

■コンビニ納付できる町税等

平成30年5月以降に発行される次の町税(料)の納付書で、納付期限内のもの。

- ・町県民税(普通徴収のみ) ・固定資産税
- ・軽自動車税 ・国民健康保険税
- ・後期高齢者医療保険料 ・介護保険料

※「町県民税の特別徴収」「法人町民税」については、コンビニ納付できません。

■コンビニ納付できない納付書

- ・バーコード(見本参照)が印字されていないもの
- ・納付期限が過ぎているもの
- ・納付書1枚の金額が30万円を超えるもの
- ・金額等が訂正されているもの
- ・破損、汚損等でバーコードが読み取れないもの
- ・ホッチキス等で穴が空いているもの
- ・「納入通知書」と「領収書」が切り離されたもの

■納付できるコンビニ(納付書裏にも記載あり)

MMK(※)設置店、くらしハウス、コミュニティストア、サークルK、サンクス、スリーエイト、生活家、セイコーマート、セーブオン、セブン・イレブン、タイエー、デイリーヤマザキ、ニューヤマザキデイリーストア、ハセガワストア、ハナマスカラブ、ファミリーマート、ポプラ、ミニストップ、ヤマザキスペシャルパートナーショップ、ヤマザキデイリーストアー、ローソン、ローソンストア100(以上50音順)

(※)納しんきん情報サービスが提供しているコンビニ同等の料金代理収納サービス。県内では主に「イオン」「ヨークベニマル」各店等に設置されています。※設置していない店舗もあります。

■督促状や口座振替不能通知書について

今後お送りする町税等の「督促状」や「口座振替不能通知」の際にも、コンビニ収納用の納付書を送付します。納付書に記載された納付期限内(到着後おおよそ1週間)までコンビニ納付が可能です。町税等は滞納せず、納付期限内に納付いただくようご協力をお願いいたします。



獅子とお囃子、子ども神輿が宮宿全域を練り歩く

豊龍まつり

5/2
~ 3

宮宿地区の鎮守であり、農耕と安産の神 豊玉姫命を祀る豊龍神社の「豊龍まつり」が、5月2・3日の両日、今年も盛大に行われました。

宮宿5区と緑町の地域住民などが参加。2日の前夜祭には若衆による神輿行脚、3日は大獅子小獅子とお囃子隊による行列や子ども神輿(たるみこし、宮みこし)が、宮宿地区全域を練り歩きました。

また関連行事として、神社参道入り口付近の広場で五穀豊穡を祈願する「豊玉姫まつり」、町民体育館で町柔道連盟が主催する祭典奉納柔道大会が開催。多くの人でにぎわい、活気ある2日間となりました。



1. 神社を出発する祭り行列 2. 大獅子の洗礼を受ける男の子 3. 同地区の中学生によるお囃子 4. 同地区の小学1~3年生による「たるみこし」
5. 3人の早乙女たちによるお田植神事で豊作を祈願する豊玉姫まつり 6. 第34回を数える「奉納柔道大会」。町スポ少チームは見事団体3位に入賞

春夏秋冬 編集後記

自分の笑顔は
自分でつくる

づくりに大切だと思います。
また、「挑戦者」や「主役」なんて、自分にはとても…と重荷に感じる方もいるかもしれません。そんな時は考え方を変えてみましょう。「人生を楽しく」、そしてどうせならずっと「この町で笑顔で暮らせるように」個々が心がけること。それが「町民みんなが主役」という意味だと私は思います。そして町民がいきいきと幸せに暮らしている町には、自然と人が集まってくる。これからそんな仲間を増やしていきたいと思います。
村山 彩

160ページを超える「第6次朝日町総合発展計画」、皆さんはもうご覧になりましたか。
今号の特集でもご紹介していますが、どれか一つのテーマで構いませんので、目標達成のために「自分ならどうする」か、置き換えながら読んでみてください。それから町での日々の暮らしを思い返してください。何気ない地域の集まり、催し、仕事…それぞれのテーマで頑張っている方が、必ずいることに気が付くはず。その「気付き」がまち